

## 平成25年3月26日定例経営会議（要約）

（平成25年3月26日 午前9時30分～12時00分）

### 新たな創造 変化に対応

#### I 開会 ～ 市長あいさつ

昨日までの議会は大変ご苦労様であった。全ての議案が原案通りに滞りなく可決された。議案として賛否が分かれたのは、生活保護関連で警察OBを行政の暴力対応職員として取り扱う件であった。争点になると懸念していた連立の基金創設は全会派が賛成だった。これまでに市民や議会の声を聞きながら取り組んできたことに対して、一定の評価を得られたものと考えている。これも各部長、管理職、職員の日ごろの尽力の賜物だと思っている。心から感謝したい。

3月18日に人事異動を発令し、内示について説明した。今回の人事で苦労したのは、50代前半の職員、特に管理職層が非常に少ない点である。次の管理職である係長・課長補佐職に関しても、今回、係長は充足できたものの、毎年度、綱渡り状態になっている。長年この場でも議論してきたが、現状の試験制度だけではすでに対応しきれない危険性を感じている。次年度の課題として、係長・課長補佐職をどうするか。試験制度の堅持か、選考ルートを加えて考えるか、あるいは試験制度を廃止するか。議論をお願いしたい。

今回、新たに女性管理職が2名誕生した。新規で職員を採用すると、概ね3分の1から4割が女性である。最近の傾向として、新規採用の試験の上位には女性が多い。女性職員をどのように活かしていくかについて組織全体で考える必要がある。2月14日には女性職員のキャリア研修を行った。徐々に定着してきており、女性職員のキャリアアップの雰囲気醸成に貢献している。しかし他市と比べると、当市には女性の管理・監督職が少ない。この点についても、次年度の課題として、女性職員を活用し、力のある人は相応の職責に就いてもらえるような環境整備を進めてもらいたい。

2月15日に広報広聴課主催で研修を行った。今回は人事課との連携に課題を残したものの、可能であれば毎年度実務研修として実施し、各部署でも情報発信力の向上に努めていただけるようお願いしたい。少しずつではあるが、特に今回、情報政策課でツイッター等のSNSを活用し発信力を高めることとなった。これまで放射能関連のみであったが、4月1日から市のホームページの到着情報等もツイッターで発信する。部署によっては、ツイッターやフェイスブック等を活用し、より発信力を高める必要があると思われる。

2月から3月にかけてはイベントが多かったため、詳細は割愛する。議会もあったが、ころころの森と秋津町でタウンミーティングを開催した。各所管で対応をお願いする。

3月17日、各部長にも出席してもらった自治基本条例策定市民会議の提言書をいただ

いた。25年度は本格的な策定作業が予定されているが、全庁的な課題として取り組むことになるため、各部においても、市民が「自分たちのまちを自分たちでつくる」という機運を高めていくための方法を考えてほしい。

同日には全生園の清掃ボランティアを行った。今年は100名を超える方々が参加された。新しい人権の森のポスターも完成し、人権の森構想も新たな展開をすることとなる。

16日には東村山駅で特急の停車イベント、19日は商工会と合同の観光フォーラムが開催され、まちづくりの気運醸成に貢献したものと思われる。

20日は中学生の駅伝大会が開催され、教育委員会はお疲れ様であった。故障者が多く、期待した順位に届かず残念であったが、遅ればせながら横断幕とのぼり旗も作成することができた点については良かったと思っている。

24年度について、1年を通じて振り返ると、リサイクルセンターの問題と職員の不祥事で随分振り回されたというのが率直な感想である。その一方、連続立体交差事業に向けて都市計画決定がされたほか、公共施設再生の足がかりを築くことができた。「次なる東村山」の大きな課題に向けて踏み出した1年だったと思っている。財政的にも、これまでの行革の効果が表れ、公共施設再生基金と連続立体交差事業の基金も創設でき、それなりに次の挑戦に向けた準備が整ってきたという実感を持っている。

この経営会議のメンバーでは都市環境部長と健康福祉部長、再任用として2年間務められた市民部長、またメンバーではないがまちづくり担当部長と、合計で4名の部長が退職され、経営会議のメンバーも3名が交代することとなった。市政推進のエンジンとしての経営会議である。経営の一角に参画する部長と理事者が情報や問題意識を共有することが、市政の推進、様々な改革を進める上でまずは非常に重要だと改めて感じている。29日の臨時経営会議の場でも改めて御礼申し上げるが、退職する方々には本当にお世話になった。第二の人生が充実したものとなるよう願っている。また、残る部長には、引き続き新たな顔ぶれを加えた新体制で25年度を頑張らせていただくこととなる。2週間ほどの猶予を持って内示を行っているので、しっかりと引き継ぎを行い、4月当初からスタートダッシュができるよう準備をお願いしたい。連休明けから動き始めるような感覚もあるが、悠長なことを言ってもらえない状況であり、4月1日から、新体制のもと「市役所、頑張っているな」という雰囲気をも市民の皆様に感じていただけるようお願いして、1年の感謝の言葉とさせていただきます。

## II 協議事項

### (1) 平成25年度市民功労表彰の被表彰者について

3月4日に開催された表彰審査会で市民功労表彰の被表彰者を決定した。管理職には通

知済みである。各所管から推薦された被表彰者には所管から連絡を依頼したい。後日、秘書課から、4月27日の表彰式について別途、通知を送付する予定である。

### Ⅲ 報告事項

#### (1) 平成24年度職層別会議について

平成24年度職層別会議を、平成24年12月20日から平成25年2月5日の期間に開催した。係長職は半数を対象として実施した。

#### (2) 平成24年度接遇アンケート結果について

平成24年度の通年での集計結果が報告された。「⑥本日の満足度」について、8月は、69.4%、その後は76%、77%と回復した。夏場のノーネクタイ・上着月間の関連で、服装の印象から下がってしまう傾向が今年度も見られた。新年度に引き続き検討する。

自由意見欄では、良いという意見、不愉快であるという意見、時間を早くできないかという意見も見られた。各窓口において、マニュアル作成を含む正確な事務処理とスキルアップが課題として浮き彫りになった。

#### (3) 平成25年新入職員研修の実施について

平成25年度の新入職員約40名を対象に研修を予定している。入庁初日から7日間のカリキュラムで研修を開始する。

#### (4) 市議会3月定例会をふりかえって

市議会3月定例会について、参加者から所感等が述べられた。

#### (5) その他

##### ・人権の森ポスターとリーフレット

平成23年度末から約1年の制作期間で、人権の森普及啓発用リーフレットを1万枚、ポスターを4種類作製した。多磨全生園入所者自治会の強い要望により、「全生園の豊かな緑やメッセージを含んだものを全国に発信し、全生園を知って、訪れていただく」という目的で、ポスター制作の企画を立て、本町在住の写真家、萩山町在住のデザイナーの方にご協力いただき作製した。

特に中心となるのが人権の森のシンボルマークで、濃淡2色の緑色で構成された「森」の字の間に、人の形が浮かびあがる構成となっている。また、ポスターに掲載しきれない「いのちとこころの人権の森宣言」を、リーフレットで紹介している。4月に記者会見を行い、4月29日に「春の緑の祭典」で発表を行う。また、ポスター4種のうち、シンボ

ルマークの入った２種類は、全国、都内小・中学校に配付する。春夏用、秋冬用のポスターは、アルミパネルに装丁し、時期ごとに市内公共施設１００ヶ所に掲示する。

#### IV その他

- ・特急停車イベント
- ・タウンミーティング
- ・消防団の人事異動
- ・中学生駅伝大会

中学校駅伝大会が味の素スタジアムで開催され、女子が１３位、男子が２０位、全体では１４位という結果であった。来年度は２月に開催予定である。

- ・嘱託職員の更新回数

４月１日に嘱託職員の更新時期を迎えることにともない、更新回数等について再度確認を行った。

#### V 閉会 ～ 副市長

以上